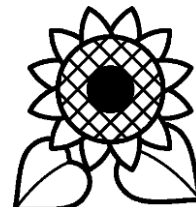
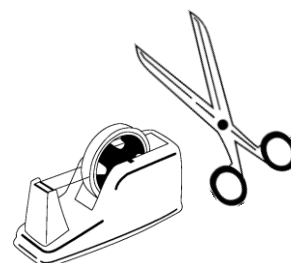


り か じ ゆ う け ん き ゆ う
(小 1 ～ 3 年 生 用) 理科の自由研究

り か じ ゆ う け ん き ゆ う か が く ろ ん ぶ ん か が く く ふ う さ く ひ ん
理科の自由研究には、科学論文 と 科学工夫作品
があります。



どっちに
しようかな？



- ・ なにげなく見ているもの、
身のまわりのものをくわしく
調べてみたい。
- ・ 生活科や理科で学習したことを
もっとくわしく調べてみたい。
- ・ 図書室で借りた本などから探して
自分でもっと調べてみたい。
- ・ 身近な自然や博物館・科学館に
出かけて、自分でもっと調べて
みたい。

- ・ ふだんの生活の中から、
「こんなものがあつたらいいな」
「こんなものがあつたら便利だろ
うな」と感じたものを作ってみ
たい。
- ・ 生活科や理科で学習したことを
つかって、おもちゃを作っ
てみたい。

か が く ろ ん ぶ ん か
科学論文を書こう
(2 ページへ)



か が く く ふ う さ く ひ ん つく
科学工夫作品を作ろう
(3 ページへ)



かがくろんぶん か 科学論文を書こう



すす 進めかた

なに について しら べるか (テーマ・題名) を き 決めよう



どんな じっけん や かんさつ をしたら よいか けいかく 計画をたてよう



じっけん かんさつ つか ざいりょう どうぐ ようい
実験や観察に使う材料や道具を用意しよう



1つの ほうほう 方法だけでなく、いろいろな ほうほう 方法で しら べて、くふう 工夫しよう



しら べてもわからないことがあったり、よそう 予想とちがうことがわかったり
したことは、もっと すす すす 進めて しら べてみよう



どうしてもわからないことがあったら、せんせい 先生や いえ 家の人と ひと そうだん 相談しよう

まとめかた



「○○○○○○○○」 (テーマ・題名)

1 きっかけ・動機

どうして しら べることになったのかを書きます

2 目的

かんさつ じっけん しら べたいのかなどを書きます

3 予想

どんな けっか 結果になるのか、先に かんが 考えてみます

4 方法

かんさつ じっけん え しゃしん つか せつめい
どんな観察や実験なのか、絵・写真などを使ってわかりやすく説明します

5 結果

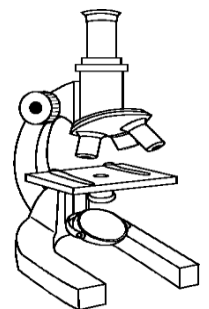
かんさつ じっけん しら べたことから はっきりしたことを、ず ひょう
写真・絵などで、あらわ 表します

6 結果から考えられること

けっか かんが 結果から、わかったこと、どんなことが考えられるかを書きます

7 感想

もっとくわしく しら べたいことやうまくいかなかったことなど、ふりかえっ
てみましょう



かがくくふうさくひん つく 科学工夫作品を作ろう



すす 進めかた

どんなものをつくるかきまったら、作り方を絵にかいてみよう



ひつよう ざいりよう どうぐ
必要な材料や道具をそろえよう



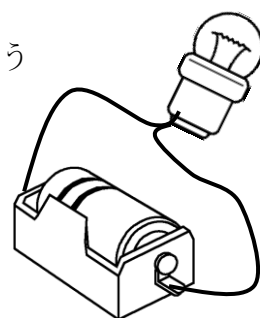
けがをしないように気をつけて、作品を作ろう



どうしてもわからないことがあったら、せんせい いえ ひと そうだん
先生や家の人に相談しよう



さくひん
作品ができたなら、つか かた くふう
使い方や工夫したことをまとめよう



まとめかた

「○○○○○○○○」 (作品名) さくひんめい

1 きっかけ・動機 どうき

どうして作ろうと思ったのかを書きます

2 しくみとはたらき

どのように動かすか・どうして動くのか説明します

3 工夫したところ くふう

作る時に工夫したことや苦労したことを書きます

4 注意 ちゅうい

使う・動かすときに注意することを書きます

※動かしてこわれてしまっても、作ったことにはなりません。
じょうぶな作品を作りましょう。

船橋市総合教育センター「理科なんでもサポートデスク」(研究研修係)

電 話：０４７－４２３－４９１０

受付時間：平日９時～１７時

保護者の皆様へ（小学生版）

研究をすすめる際の事故を防止するため、観察・実験・製作等におけるお子様への安全配慮をお願いいたします。

科学論文・工夫作品には、次のような応募基準があります。作品を出品の際には、次の点をご確認の上、ご提出ください。

- (1) 市の作品展に出品の際には事前に校内審査があり、優れた作品と認められたものが出品されます。
- (2) **出品カードの提出で、保護者の同意といたします。**
- (3) **出品カード及び科学工夫作品解説書の作品の概要は、学校で作成し、9月初旬に保護者の方に内容を確認していただきます。**
※ 1 **市の作品展に出品が決まった場合、搬出日まで作品は返却できませんので、事前に概要や作品のタイトル等を保護者保管用に記録しておいていただくと記入の間違いがなくなりますので、ぜひご活用ください。**
- (4) 内容は、生活科や理科の学習に基礎をおき、その上で作成するようにしてください。
- (5) 未発表のものに限ります。
- (6) 着想が新しく、研究の動機がはっきりしているものが評価されます。
- (7) 商品パッケージ等を使用する場合は、**メーカー名や商品のロゴマークが表に出ないように注意**してください。（写真で撮影する場合にもご注意ください。）
- (8) **著作権法に触れるもの（キャラクターグッズやそのコピー、絵、写真、フィギュアなど）は、使用できません。**
- (9) **生成ＡＩの扱いについては、文部科学省が策定している「初等中等教育段階における生成ＡＩの利活用に関するガイドライン」に準拠して使用してください。また、ガイドラインが改訂された場合には、その改訂版に準拠してください。**
- (10) 科学論文について
 - ・ **B 3 判** (364mm×515mm) 以内のもの。
 - ・ 標本や付属品は論文に必要なものだけとします。腐敗の恐れがあるものや、生き物、壊れやすいものなど、保管上問題のあるものは提出できません。写真にするなどして、論文内に掲載してください。

・ **模造紙での出品はできません。**

- ・ 図表、パネルは、B 2 判(515mm×728mm)以内かつ1点以内とします。
- ・ 付属品、図表等も提出する場合は、そこにも学校名・学年・氏名を記入してください。
- ・ 論文は丁寧に読みやすく書きましょう。パソコンで作成してもよいです。
- ・ 継続研究の場合、過去の研究内容と今回の研究内容を明らかにし、過去の論文は添付しないでください。

(11) 科学工夫作品について

- ・ 工夫作品は、丈夫で、安全、取り扱いやすく保管しやすいもので、大きさ縦・横・高さ共に1 m以内かつ重量2 0 k g 以内のもの。
- ・ 1人または共同（3人以内）で作製したものに限りします。
- ・ 破損しやすいもの、安全上問題のあるものなど、保管や取り扱いが困難なものは出品しないでください。
- ・ アプリケーション等のソフトについては、ハード及び説明書を添えて、使用できるようにして出品してください（ハード等の貸出はできません）。